

■ご挨拶	1
■臨時国会	2
■活動報告	3
■同級生の声	4
■事務所紹介	
■お知らせ	
■編集後記	

『足立信也と安心な日本を創る会』 <http://www.adachishinya.com> E-mail: [info@adachishinya.com](mailto:info@adachishinya.com)

## 1) 挨拶

秋の心地よい季節となりました。皆様にはまず御健勝のこととお喜び申し上げます。今年度の重なる台風の来襲には自然の大きさを感ずることも、この自然に対して私たちが誤った行動をとってきたのではないかと考えさせられます。少くとも地球温暖化への対策は早急に講じられなければなりません。あの暑かった戦いの中にも台風がありました。雨の中、炎天下、本当に多くの方々に応援を賜りました。重ねて厚く御礼申し上げます。

7月11日の当選確実の報道以来、様々な時、場所、感想を聞かれました。報道陣の方々にはいささか物足りなかつたかもしれませんが、本当に私にとって、3月の末、私が天職だと思っていた外科医の道を捨てて出馬に前向きに取り組もうと判断したときの心の葛藤に比べれば、その後の変化は物事の流れに過ぎなかつたのです。やらねばならぬ、と思いついた私たちが夫婦の決断にも、私に白羽の矢を立てた吉良州司君およびそのスタッフの皆さん、梶原九州男県議の英断に対しても自ら賛辞を送りたい心境です。9月13日の臨時国会で新参議院議員28名を代表して挨拶をいたしました。その内容を書かせていただきます。

「皆さんこんにちは。大分選挙区の足立信也でございます。私のような若輩者が憎感ではあります、



国会議事堂前

おそらくアイウエオ順ということもありまして一言ご挨拶申し上げます。7月の参議院選挙に際しましては衆議院・参議院・都道府県連の多くの先輩方に多大なご支援を賜りました。この場をお借りいたしまして改めて御礼申し上げます。さて、私は参議院は専門家集団であると捉えております。専門家としての日本の現状の把握、世界の情勢の把握、それに基づく日本の将来の姿を描き出すこと、そして目的に即した行動をとることです。6年という長い時間をかけて、われわれ一人ひとりの活動が信頼感を生み、やがて党への信頼へ変わってゆく。その途中で衆議院による政権獲得、われわれ1年生議員の働き方が政権交代への試金石だと思っております。わずかの期間ではありますが、民主党にはさまざまな立場の人、意見の人がおられます。この日本の縮図のようであると思います。だからこそ、民主党が一本筋を通して軸がぶれないことをささなければなりません。それはただひたすら国民のためということですから。先軍方に置かれましては今後ともご指導を賜り、時には議論を戦わせ、たまには党友として語らうと思っています。今後ともよろしくお願いたします。ともがらばりましょう。」

岡田代表は党の方針として時期衆議院選で単独過半数を獲得し、政権獲得をする、この一点であると表明されました。そのために、信頼される党へ改革すること(具体的に外部監査を入れる、資産公開を積極的にする、議員総会をスピーディーに開く)、安心を与える政策を作ること(議員立法、委員会質問、質問趣意書)、そして選挙に勝つ体制を作ること(300選挙区に全員候補者を立てる、170以上とりたい)を挙げました。私にやれることとしては現政府、与党に対する攻撃と国民やわが国にとって正しい政策を作ることです。しかし、私は攻撃することを望みません。ひたすら現制度の問題点を指摘し、その改善、創造に努めたいと思います。

どの世論調査でも国民が望んでいるのは安心できる社会保障制度です。私は厚生労働委員会に属し、厚生労働部門会議、医療問題PT (project team)、年金PT、障害者政策WT (working team)、介護保険WTに参加しています。政治の目的は国家の安全を保ち、国民に安心を与えることだと言いつけてきました。あれから2度目の国会を経験しておりますが、心境はいささかも変わっておりません。私が目指すのは国民一人一人と向き合った命を大切に政治です。幸いスタッフにも恵まれ、大分・東京の事務所ともじっくり腰をすえて取り組んで来ています。社会保障制度に関する勉強会も立ち上げました。人生二つ目の山は始まったばかりです。皆様と一緒に登りたいと思います。今後ともご指導のほど、よろしくお願いたします。

参議院議員 足立信也

## 臨時国会について

10月12日より始まりました臨時国会のテーマとして岡田代表は①米軍ヘリの墜落の問題②基地の再配置の問題③政治と金の問題④年金の問題を挙げましたが、現在のところ、日韓連・迂回献金・社会保障・取締・監査料と政治と金の追求一色です。これに多少、義務教育費国庫負担金の問題が絡む程度です。おそらく来年の通常国会では介護保険、郵政民営化の本格的論議が待っているものと思われまます。私は法案を作り上げる前に介護保険の問題点を委員会指摘するつもりです。さらに、医療上、あまり目を向けられない問題点も取り上げます。現場でしかわからない感覚を伝えられたいと思います。



執務室内

## 臨時国会 (第16回国会)

10月12日の開会式を皮切りに、待ちに待った国会がいよいよ始まった。今国会の焦点は、年金問題、「政治と金」の問題、そしてイラク戦争、三位一体改革、郵政改革などである。そして、次期国会以降本格的に始まる、一連の社会保障制度改革への準備段階と位置づけられる。

## 委員会

足立議員は、参議院で、厚生労働委員会、災害対策特別委員会、経済・社会・雇用に関する調査会の所属となった。このうち、厚生労働委員会では、民主党内で足立議員が担当している介護保険制度改革が、最大の焦点になっている。中でも、障害者への支援として行われてきた介護と、高齢者を対象としていた介護保険制度のしくみを統合しようとする、大がかりな改革が論点となっている。現在、厚生労働省内部での検討が進められ、年末に結果が出る予定なので、国会での本格的論戦の場は、来年の通常国会となる見込みである。足立議員は、その時に備え、党内外の勉強会への参加や医療関係の人脈を生かした情報収集、そして、介護現場の生

の声を聞くなどして、政策作りに向け着々と準備を進めている。さらに今国会においても、厚生労働省内の検討状況へのチェックを怠りなく続け、自身の意見を反映させるべく主張する機会をうかがっている。この改革は、足立議員の持論である、医療、介護、福祉、年金政策を統合する抜本的社会保障改革に大きく関わるものであり、最初の山場となるものである。

なお、今国会で審議予定となっているのは、無年金障害者を救済する法案、労働組合法改正法案、育児休業法改正法案、主に児童虐待防止策を強化するための児童福祉法改正案などである。



## 参議院の出席確認電光掲示板



これが巷で噂の電光掲示板である。御覧のように我が足立議員の名前が一番とある。あんなるほど、足立だから一番

ね。」とお思いの方よく知らん下さい。一般的な五十音順では「足立」は7番目にあたる。では、なぜ「足立」が一番なのか？それは国会議員の名簿は電話帳と同様に、漢字の配列が美しく見られるように第一字目の漢字順に名簿を作成しているからである。しかし、参議院事務局に問い合わせたところ「立派な議員順ですよ。(笑)」との回答も得られました。もしそれが本当だとすると、やはり名簿一番は足立議員であることは間違いないでしょう。

## 地下道の花園

これは参議院側の地下道だけだが、本館側より沖縄県から始まり北海道にいたるまで約80mにわたり各県の県花が無機質な地下道を飾っているのである。大分県の県花は「ブンゴウメ」。足立議員は委員会などに出席するために毎日通るこの場所を眺め、大分県民のために日々研鑽を積んでいるのである。



## 国会周辺は地下シェルター!?

国会議事堂本館と参議院議員会館、衆議院議員会館、分館、別館など主要な建物は地下道(地下2階相当)で結ばれているのである。この地下道は端から端まではゆっくり歩くと5分以上かかり、国会の開会中ともなると走る秘書の姿を見るのも珍しくないのである。議員を

はじめ国会関係者はこの地下道のおかげで天候に関係なくスムーズな行動が出来るようになっていのである。足立議員は毎日この道を通り本館、分館、衆議院議員会館など委員会、部門会議、調査会等に出席しているのである。一説にはこの地下道、議員のシェルターになっているとか...

## 臨時党大会で挨拶

9月13日(月)民主党の代表を選出する臨時党大会があり、7月の参議院選挙で当選した新人議員32人(推薦、支援を含む)が紹介され、新人議員を代表して挨拶をしました。一部挨拶の内容を紹介すると「新人議員の頑張りが政権交代実現への試金石だと思って奮闘する」と力強く決意表明しました。



五木村村長より川辺川ダム状況説明

## 九州での問題工事を視察



菅元代表と農水省前にて

9月20日(月)と21日(火)に長崎県諫早干拓事業と熊本県川辺川ダム事業を菅元代表と民主党九州選出の国会議員とで視察しました。

## 台風21号による被害状況視察

10月2日(土) 国見町岐部地区の被害状況を小野県議・梶原県議と視察しました。国東土木事務所の浅野企画調整課長に早急な対応をお願いし、国費で出来るよう活動中です。



岐部川の被害現場



浅野企画調整課長から説明を受ける



## 中津市医師会で講演

10月9日(土)中津下毛地区医師会・歯科医師会・薬剤師会主催の「国会議員から見た、医療・福祉」についての講演を行いました。

※4時までかかって資料を作成したそうです。(K・H)

## 同級生の声

## 足立信也さんに期待します

猛暑の中の参議院選挙で足立さんは序盤の劣勢をみごとに逆転し、大差で圧勝しました。

彼の若さとこれまでの経歴、そしてなによりも医療、年金問題に正面から立ち向かってゆくであろう熱意や情熱が多く有権者の支持をいただいた結果ではないかと思えます。

参議院議員になってから三ヶ月がすぎましたが、この間にさまざまな事が起こりました。まず、異常ともいえる多くの台風の上陸で日本各地に甚大な被害をもたらしました。

また、新潟県中越地方をおそった大地震ではたくさんの方々が亡くなられ、家屋の倒壊やライフラインの断絶で大変な状況になっています。被災者の皆様方に心からお見舞い申し上げます。

さて、足立さんは厚生労働委員会に所属したとの事ですが、専門の医療、年金問題のみならずさまざまな事案に対し迅速、果敢な対応で解決してくれるものと確信しています。

また先頃、吉良州司さんの民主党への入党が決まりました。衆参両院で若い「大分の良識」がスクラムを組んで日本のため、また大分県のためにも活躍してくれる事を願っています。

(N・F)

11月4日に行われた第161回国会(臨時会)の参議院厚生労働委員会において、足立参議が初質問致しました。審議内容は下記のホームページからご覧になれます。

参議院ホームページ

<http://www.sangiin.go.jp/>

参議院インターネット審議中継

<http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

## 事務所紹介

東京事務所と大分事務所が決まりましたのでお知らせ致します。ご近所にお越しの際は、是非お立ちより下さい。スタッフ一同、お待ちしております。

**東京事務所** 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館425号  
☎03-3508-8425 fax03-5512-2425

★スタッフ 政策担当秘書 大野 忠治 (おおの ただはる)  
公設第二秘書 村上 泰道 (むらかみ やすみち)  
事務員 谷田 三代江 (たにだ みよえ)

**大分事務所** 〒870-0039 大分市中春日町5-26 民主党ビル2F  
☎097-573-3355 fax097-573-3358

★スタッフ 事務所長 増原 寛 (ますはら ひろし)  
公設第一秘書 広原 謙二 (ひろはら けんじ)  
秘書 内田 賢一 (うちだ けんいち)  
事務員 岩崎 慶子 (いわさき けいこ)  
事務員 利光 三津子 (としみつ みつこ)

e-mail : info@adachishinya.com



## 編集後記

選挙では大変お世話になりました。また、その後の足立参議の活動に対するご支援にお礼申し上げます。

さて、今年は台風の当たり年。既に、過去の記録を塗り替えるほどの台風が、日本を襲っており、各地に多大なる被害をもたらしております。被災された皆様方にお見舞い申し上げますと共に、一刻も早い復旧を願っています。当参議も、地元の実情と共に被災地を回り、現地の状況等をつぶさに視察する中で、国の関係機関に対して早期の対応をお願いしている状況でもあります。

最後になりましたが、選挙期間中に出版した新聞を9名の編集委員で再度、広報委員会を立ち上げ、Vol.2として発行しました。優秀なスタッフに恵まれる中で、「読みやすい」「分かりやすい」紙面で今後も頑張っていきたいと思いますので、ご支援、そして「一読を頂きますようお願いいたします。

(編集委員長)

## お知らせ

## 個人会員募集

個人会員を募集しています。  
(年会費 ¥5,000)

事務所の運営費・Shin-ya新聞の発行費・集金費等に充てます。皆様の入会をお待ちしています。

## ミニ集会(見て聞いて知っちゃくれ)開催のお願い

足立信也を知っていただくためのミニ集会を計画しています。

少人数でもかまいません、ご協力いただける方は、大分事務所までご連絡ください。